

JABEE 25周年記念大会

持続可能な農業農村工学教育のために求められること



(公社) 農業農村工学会

2024年6月5日

小泉 健

1 JABEEとの関わり

21世紀への科学技術教育

—基礎教育の振興と人材育成—

社団法人 日本工学会編



日刊工業新聞社

21世紀への科学技術教育

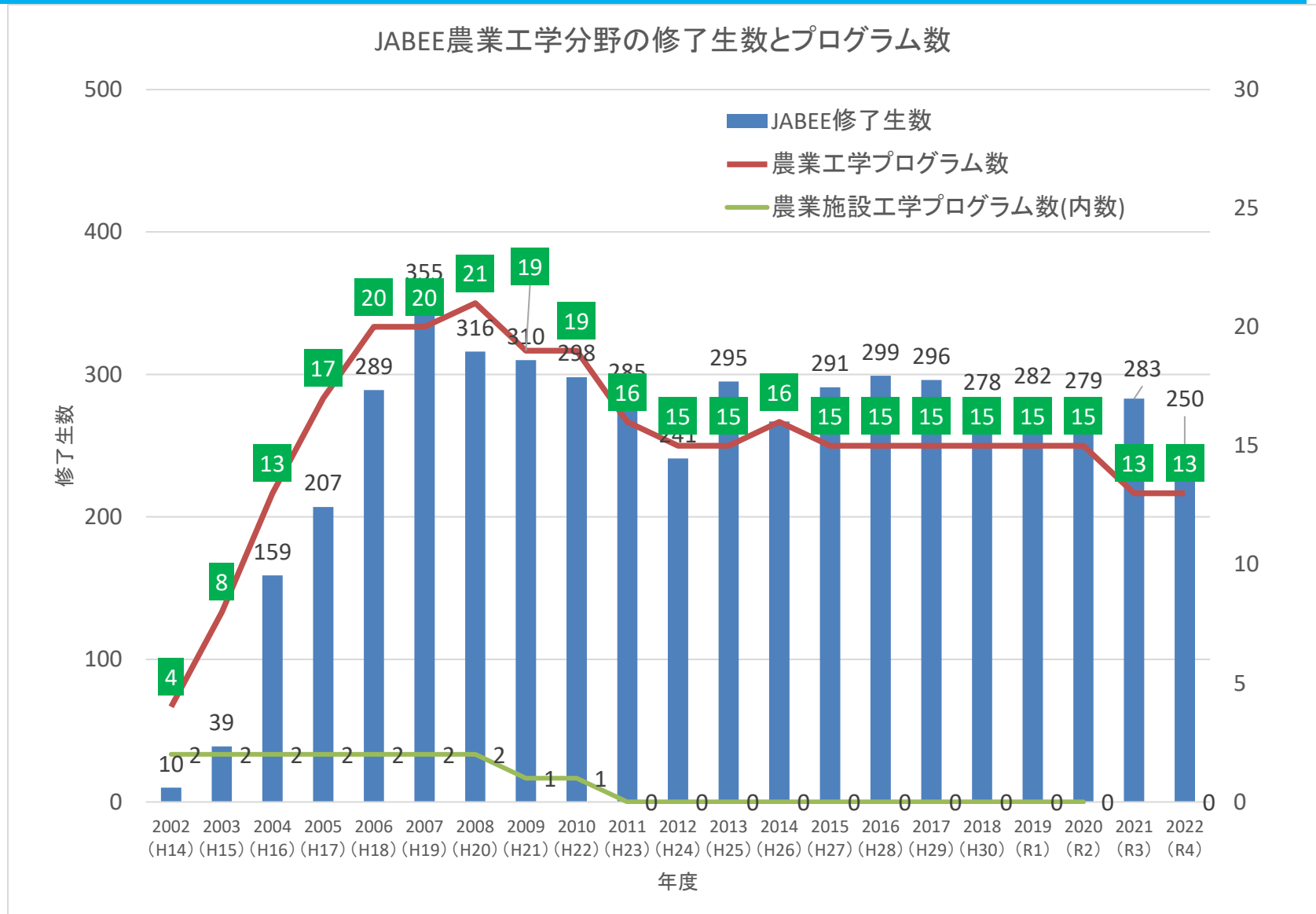
—基礎教育の振興と人材育成—

社団法人
日本工学会編



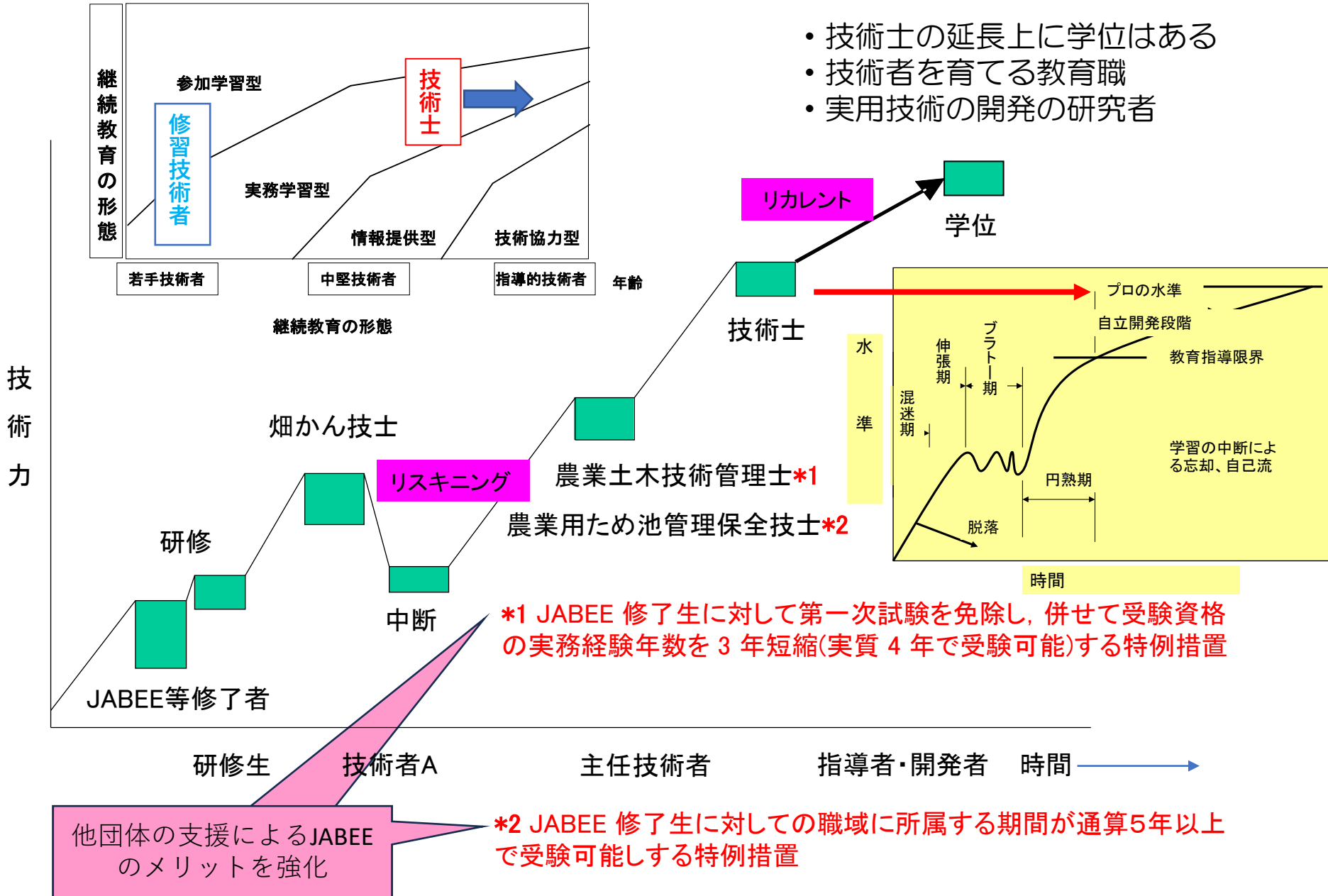
- 日本工学会主催による「基礎研究の振興と科学技術教育」シンポジウムに参加 (1997/7/1 発行)
- 土木学会 ISO 対応特別委員会 委員
- 1998年 学位取得 1999年技術士取得
- 2000年7月29～30日 (新日本製鐵幕張研修センター)、JABEE審査員養成集合研修 (第1回)に参加、ABETから講師
- 2000年12月10～12日
日本大学のJABEE試行審査員
- 2002年1月29日
農業土木技術者継続教育機構(CPD) 設立 (企画・運営のリーダー)
- 2016年11月13～15日
九州大学のJABEE審査員

2 JABEE農業工学関連分野のプログラム数と修了生



※2010年までは農業施設工学関係のプログラムを含む

3 農業農村工学の人材育成(イメージ)



- 技術士の延長上に学位はある
- 技術者を育てる教育職
- 実用技術の開発の研究者

***1 JABEE 修了生に対して第一次試験を免除し、併せて受験資格の実務経験年数を3年短縮(実質4年で受験可能)する特例措置**

***2 JABEE 修了生に対しての職域に所属する期間が通算5年以上で受験可能とする特例措置**

他団体の支援によるJABEEのメリットを強化

4 日本の技術力の低下

最近、科学技術力の低下が顕著になっていると痛感。自動車メーカー、大手ゼネコンのみならず、中小の企業でも表面には出ないが問題が多発していると聞く。これは、技術力の低下や工期順守のプレッシャーに苦しむ現場の姿、あるいは現場を知らない技術者の増加が大きな要因と考えられる。これは技術者倫理も大きくかわる課題であるが、JABEE及び技術士会としてどのように取り組むかが「社会貢献」「認知度向上」にとって重要な課題

大手ゼネコンで相次ぐ品質問題、「現場の空洞化」の深刻度

現場代理人が隠蔽に走ったワケ、駅前ビルの施工不良問題

工事監理の限界が露呈、実効性をどう高める

ずさんな施工計画、20カ月の遅延はなぜ起こったか

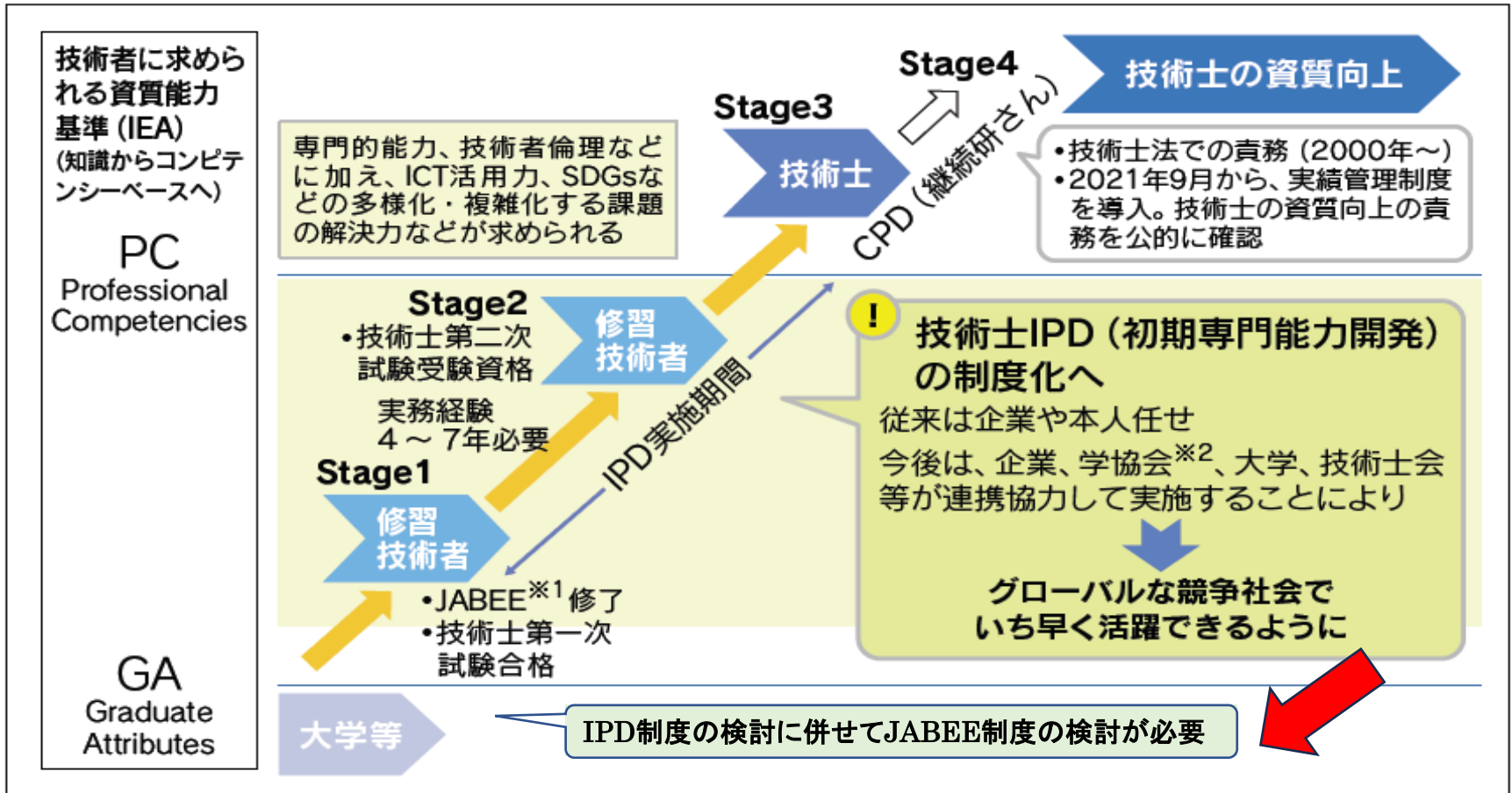
建設現場はなぜ弱体化した？ 回ってきた「冬の時代」のツケ

後を絶たない工事中の火災、1031事例の分析結果を公表

紙を捨てよ・現場へ出よう、建築生産システムつくり直し

5 技術士を育て、増やそうとする新たな取組

技術士IPDを技術者育成のロールモデルに



※1 一般社団法人日本技術者教育認定機構の略

※2 大学などの研究者を中心に自主的に組織された団体

出典：月刊経団連（3月号）「企業に求められる技術系人材のあり方（寺井和弘日本技術士会会長）」の記事を一部小林が加筆。

6 技術士IPD制度の新たな仕組みとして認定プログラム方式の提案

